

2026年1月9日

各 位

Web3事業部における新事業「Social RWA Protocol」の開始および
次世代インパクト・ファイナンス（ImpactFi）市場への参入に関するお知らせ

当社は、Web3事業部（※）における新たな事業戦略として、広告収益を原資とした実質収益型（Real Yield）の社会貢献インフラ「Social RWA Protocol（ソーシャル・RWA・プロトコル）」事業を開始することといたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

（※）参考：【Web3×AI】abc 株式会社、Web3事業部を新設し AI ゲーム事業に本格参入
<https://prttimes.jp/main/html/rd/p/000000058.000153230.html>

1. 事業開始の背景と狙い

現在、世界の寄付市場は年間数千億ドル規模（出典：Giving USA Foundation “Giving USA 2024” -米国の年間寄付総額約 4,870 億ドル（2023 年）等）と言われる巨大市場ですが、その一方で「資金使途の不透明性」や「送金プロセスの非効率」といった課題が指摘されており、ブロックチェーン技術による透明化（DX）が強く求められております。

また、Web3 市場においては、投機的なモデルからの脱却が進み、社会的価値と経済的利益を両立させる「ImpactFi（インパクト・ファイナンス）」という新たな潮流が生まれつつあります。

こうした背景の中、当社は中期経営計画に掲げる「Proof of Philosophy（思想の証明）」を具現化すべく、グローバル規模のトラフィックが生む広告収益（Real World Assets）を、透明性高く社会課題解決へ還流させる新規格「Social RWA Protocol」を策定し、同市場へ参入いたします。

2. 新事業「Social RWA Protocol」の概要

本事業は、社会貢献（NPO）、収益源（広告代理店）、金融技術（DeFi）の 3 要素を融合させた、自律分散型の「寄付 DX プラットフォーム」です。

(1) 広告収益 (RWA) に基づく実質収益エコシステム

本モデルの原資は、ユーザーからの課金や新規投資マネーではなく、Google AdSense 等のグローバルプラットフォームから支払われる「広告収益」です。「広告主→プラットフォーム→当社→社会貢献」という商流において、当社が得る収益の一部を自動的に還元する仕組みであり、外部からの確定キャッシュフローに基づいた持続可能なモデルです。

(2) 寄付実行インフラとして『MVMNT』の技術を採用

寄付の実行プロセスには、当社の支援先である Web3 マーケットプレイス『MVMNT』のブロックチェーン基盤を採用いたします。同基盤の「dMRV (デジタル測定・報告・検証)」機能を活用することで、「いつ・誰が・どこへ・いくら寄付したか」を改ざん不可能な状態で証明し、既存の寄付市場における不透明性を解消します。

3. 技術基盤とコンプライアンス

本事業は、法的・技術的な安定性を最優先に設計されております。

(1) 法的整理と安全性

本モデルにおいてユーザーは金銭的負担を行わず、無料のゲームプレイのみを行います。また、ユーザーへの還元は換金性のない SBT (Soulbound Token : 譲渡不可トークン) や記念バッジ等の付与に限定されます。

これにより、金商法 (投資性の欠如)、資金決済法 (通貨建資産の不存在)、景品表示法 (懸賞規制の範囲内) 等の各規制に抵触しない適法なスキームであることを、専門家監修のもと確認済みです。

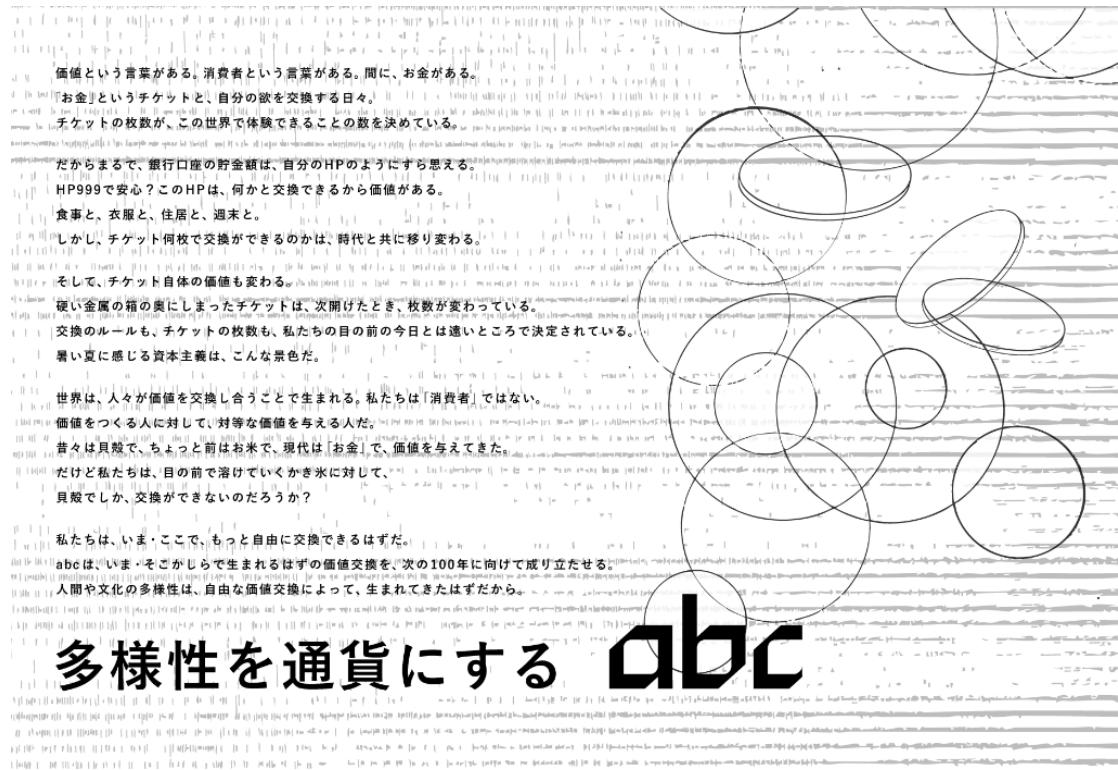
(2) 独自の AI ゲーム開発とインフラ

Web3 事業部独自の「生成 AI 活用型ゲーム開発パイプライン」により、トレンドに即したコンテンツを低成本で量産します。また、完全子会社 Metabit 株式会社の BaaS 基盤を活用し、ウォレットを意識させないシームレスな UX を提供します。

なお、本件が業績に与える影響は軽微です。

※本リリースは情報開示を目的としており、暗号資産の購入や売却を勧誘するものではありません。

※記載された時点での情報に基づいており、今後の運営方針や仕様は変更となる可能性があります。



■ abc 株式会社について <https://www.gfa.co.jp/>

abc は「多様性を通貨にする」を掲げます。私たちのアイデンティティであり、北極星であるこの言葉は、未来社会への約束です。私たちはこの言葉を、経営、事業、クリエイティブの判断軸としてすることで、Web3 技術を核とした通貨の専門集団として、従来の金融システムの枠組みに捉われない「善いことをした人が得をする世界」を目指します。

abc のグループ企業ネットワークにも「Tokenized by abc」をブランド表記として加え、各事業と一体で示すことで、統一的なブランドマネジメントを通じて、グループ全体として多様性を通貨にし、新しい価値交換システムを提供していきます。

所在地：東京都港区赤坂四丁目 9 番 17 号 赤坂第一ビル 11 階

代表者：代表取締役 松田 元

事業内容：企業・ファンド等への投資、投資先支援、不動産関連事業、暗号資産関連事業

《本件に関するお問い合わせ先》

abc 株式会社 経営企画部

pr@abc-chain.com

以上

新事業「Social RWA Protocol」 の開始について

"ImpactFi" (Web3 × 広告 × 寄付) 市場への参入と、
日本発グローバルインフラの構築

広告収益 (RWA) を原資とした、実質収益型の社会貢献エコシステム

Market Opportunity & Issues (Why Now?)

投機から「社会的インパクト」へ。Web3のパラダイムシフト

⚠ Existing Issues

- **不透明性:** 巨大な寄付市場（数百兆円）における「使途不明金」や「高送金コスト」による信頼毀損。
- **物理的な壁:** 国境やインフラ不備により、支援者の想いが届きにくい構造的課題。

✓ Web3 Solution (dMRV)

- **完全な証明:** ブロックチェーンによる透明性の担保と、中間搾取の排除。
- **ImpactFi:** 単なるDeFiから、社会課題解決型金融への資金シフト。

abc社は、この巨大な「不の解消」に挑む、日本初のImpactFi上場企業となる。

Business Model Structure (The "Real Yield" Flow)

ユーザーの財布に依存しない、持続可能な「外貨獲得」モデル



🔑 Key Message: 「広告を見て遊ぶ」 日常行為を金融技術で価値に変える鍊金術

Go-to-Market Strategy

Pipeline A: Global Width

Target: Japan's No.1 Global Creator

Reach: 億単位のSNSフォロワー

Role: 圧倒的トラフィックによる世界認知の獲得。

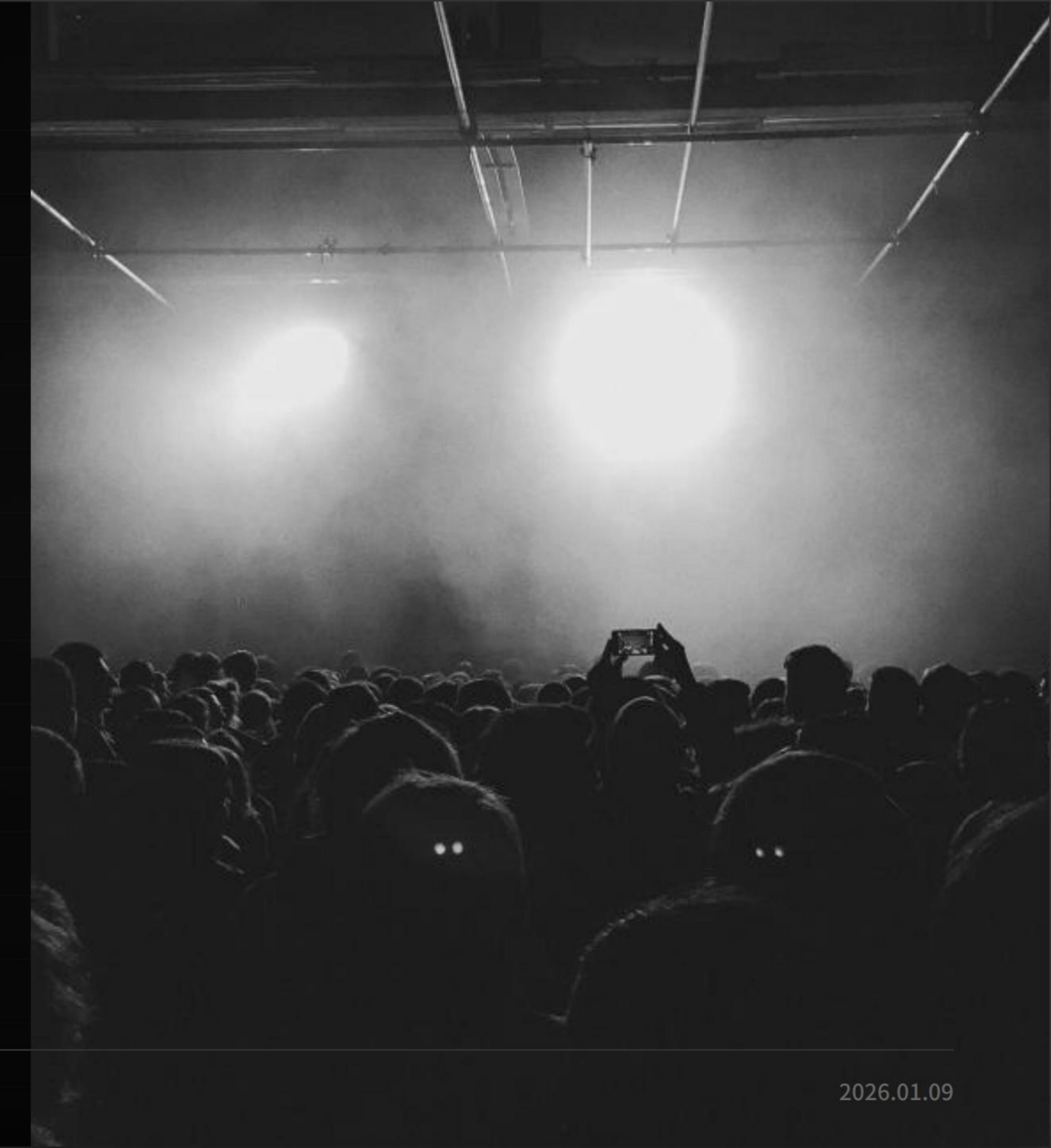
Pipeline B: Domestic Depth

Target: Japan's Legend Entertainer

Engagement: 高LTVなファンコミュニティ

Role: 「寄付×エンタメ」文化の国内定着。

Advantage: 広告宣伝費(CAC)ゼロで、数百万ユーザーを獲得。



Legal & Compliance (Legal Safety)

機関投資家が安心できる、ホワイトなスキーム設計



金商法・資金決済法

非該当

ユーザー金銭負担ゼロ。

還元は非通貨建資産(SBT)限定。



景品表示法

遵守

懸賞規制の範囲内で

インセンティブを緻密に設計。



Governance

適法性確認済

弁護士・監査法人と協議。

広告事業として透明な売上計上。

Growth Strategy Roadmap



Phase 1

Proof of Concept

グローバルIP提携による実証。
広告収益と寄付還流サイクルの確立。

Phase 2

SaaS / Protocol

"Donation as a Service"
企業のCSR、他IPホルダーへの外販展開。

Phase 3

ImpactFi Ecosystem

寄付実績が個人の信用スコア化。
融資・優待など新金融サービスへ接続。

「Social RWA Protocol」を、日本発のグローバルスタンダードへ。